

コロナとこれからの社会を広く深く考える会

コロナの死をどう捉えるか

第3回クロストークミーティング～総合知からの再出発～ by 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるパンデミックを契機に、私達は**世界史の転換点**に立ち会っています。

会のサイトはこちら



過去の歴史を振り返ると、時代の転換点に大規模な流行が発生しています。14世紀のヨーロッパのペストの流行も、当時の社会のさまざまな変化を背景として起きたことが示されています。1990年代から21世紀にはCOVID-19のような新興感染症が世界の大きな脅威になることが繰り返し指摘されており、実際に21世紀に入ると2003年のSARSの流行や2014年のエボラウイルスの流行などが起きました。しかし人類はそういった自然からの警告に耳を傾けることなくグローバル化を推し進め、感染症に対する十分な備えをしてきませんでした。**COVID-19のパンデミックは偶然起きたものではなく、起こるべくして起きたものと考えべきです。**

米国や英国などは、ワクチン開発などの輝かしい科学的成果を挙げる一方、世界最大級の死者を出しました。欧米の高所得国は、今回のパンデミックで露呈した国際協調体制や国内の対応能力の欠陥を根本的に見直すことなく、COVID-19以前の世界に戻ろうとしています。アジア・アフリカの中・低所得国の多くでは、未だに多くの人々がワクチンや抗ウイルス薬にアクセスすることができず、報告数を大きく上回る死亡者が発生していることが指摘されています。東アジア諸国は、当初それぞれ独自の方法で感染と死亡の制御に成功しましたが、高齢者など社会的弱者への脅威が続いています。中国では、当初成功した都市封鎖から新たな段階を迎えているようにみえます。日本でも流行は継続し、高齢者を中心に多くの死者が毎日報告されているにもかかわらず、対策を大幅に緩和する方向に向かっています。

そして今、私達が目にしているのは、国と国との対立、国内の強者と弱者の分断です。世界各地の争いが、パンデミックによる対立と分断に拍車をかけています。目に見えないウイルスにより、個人の健康が損なわれるだけでなく、世界の政治経済社会システムが**100年に一度の危機**に陥っています。

今回のパンデミックで、何がうまくいき、何がうまくいかなかったのか。確実に到来する次のパンデミックに、必要な備えは何か。今こそ、こうした検討を始める時です。様々な科学を総動員する必要があります。さらに、科学自体の成果と限界を明らかにし、各国独自のローカルな知や伝統の貢献を明らかにすることも重要です。これらの検討を今行わなければ、私たちは次のパンデミックに、再び無防備で直面することになります。**今は忘却の時ではなく、想起と構想の時なのです。**

以上の危機意識から、東北大学大学院医学系研究科微生物学分野は、COVID-19とこれからの社会を、広く深く考えるクロストークミーティングを開催することにしました。社会科学・人文科学・自然科学の専門家に話題提供をしていただき、突っ込んだ討論を行います。このミーティングを通して、**今後100年に及ぶパンデミックの影響を解明し、健康と人権に基づく新しい世界のヴィジョンを産み出す、自由な研究者コミュニティの創造**を目指します。

皆様のご参加をお待ちしています。

2022年12月

東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野 教授 押谷 仁



コロナとその後の社会を広く深く考える会

第3回クロストークミーティング～総合知からの再出発～

by 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野

第3回概要

日時：2023年3月8日（水） 18:00－19:30（議論が続けば延長）

話題提供：「**コロナの死をどう捉えるか**」

木村 敏明（東北大学大学院文学研究科 宗教学分野 教授）

押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野 教授）

その後質疑討論

開催形式：対面とオンラインのハイブリッド形式

対面会場：東北大学医学部・臨床講義棟 2階・臨床中講堂

右のURLまたはQRコードの地図A21 <https://bit.ly/3h9RIHn>



参加者：**東北大学の教員・学生**

パンデミックに関する学際研究に関心のある方 / とくに若手の参加を歓迎します
できれば対面会場で討論に参加していただくことを推奨します

交流会：対面会場でご参加頂く方は、終了後に会場で簡単な交流会を行います

使用言語：日本語

参加申込：右のQRコードまたは下記のリンクよりお申込みください。

<http://bit.ly/3lsqczJ>

東北大メールでログインが必要です。

申込締切 2023年3月7日（火）。お申込の際、対面会場の参加（定員50名）

またはオンライン参加（Zoom）のいずれかを選択してください。



問合せ：東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野 covidcrosstalk@virology.med.tohoku.ac.jp

今後の予定：第4回 2023年4月19日（水） 18:00－19:30 / 第5回 2023年5月24日（水） 18:00－19:30